

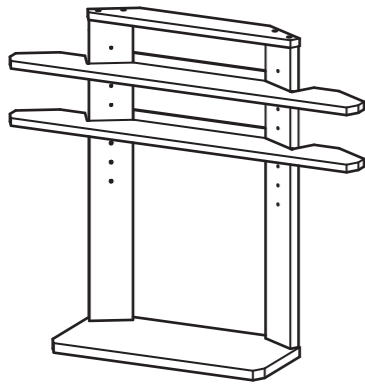
Model Name.

ルーデフト  
後付けヘッドボード

Model No.

RDS-8010SH-NA/DB

完成図

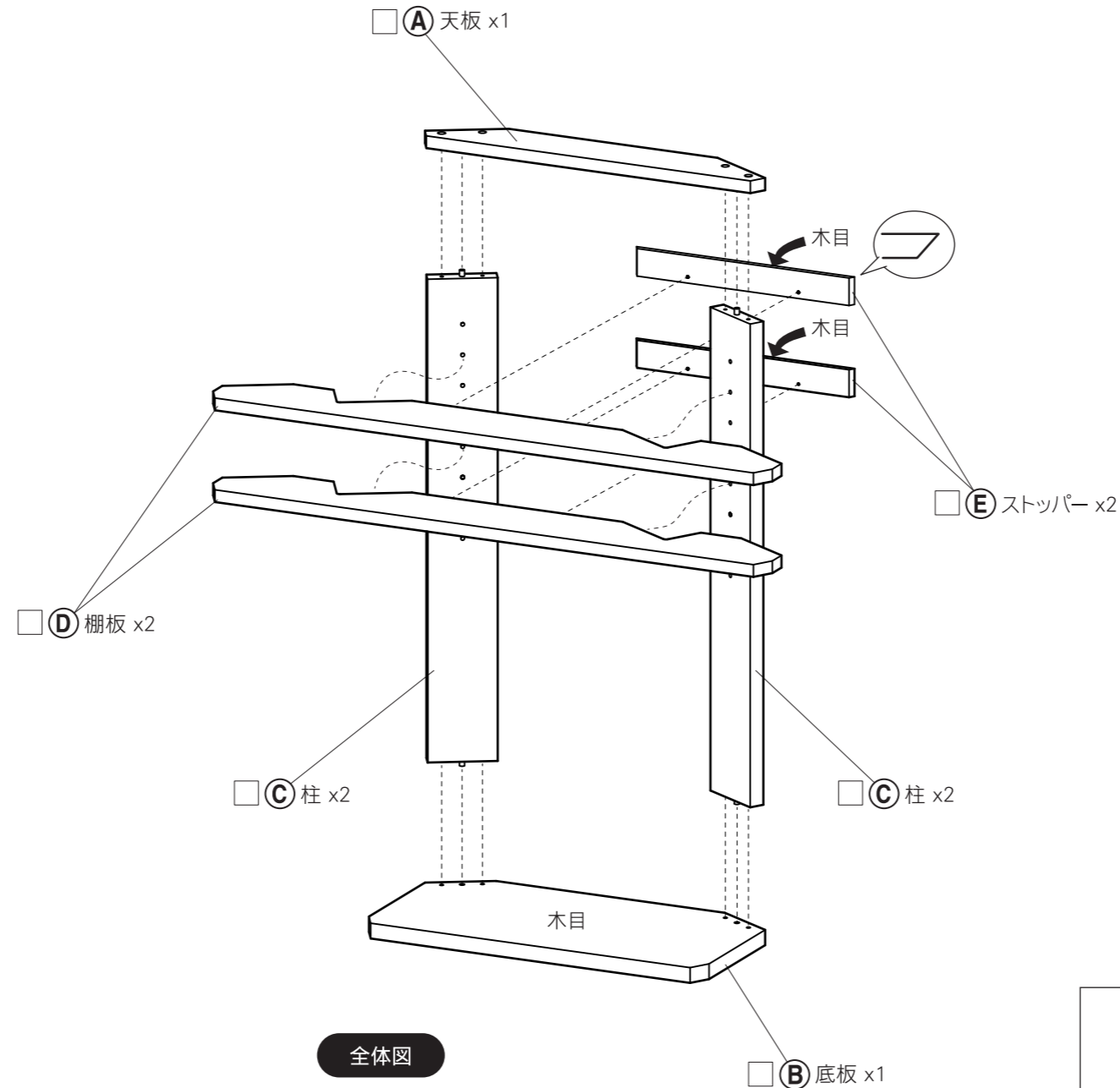


●まずは部品をチェック  しましょう。

本製品を組み立てる際は、必ず2人で作業を行うようにしてください。

### 部品

<input type="checkbox"/> ①	ラッパネジ		12
<input type="checkbox"/> ②	ストッパー固定ネジ		4
<input type="checkbox"/> ③	フェルト		4
<input type="checkbox"/> ④	ネジ隠しシール		16
<input type="checkbox"/> ⑤	ASAHI WOOD エンブレム		1
<input type="checkbox"/> ⑥	転倒防止バンド		1
<input type="checkbox"/> ⑦	転倒防止バンド用ネジ		2



### ⚠ 組み立てる時の注意点

- a) 壁や床などの住宅部材に傷をつけない様に十分ご注意ください。
- b) この説明書は、捨てずに必ず保管してください。
- c) 説明書の他、「使用上のご注意」、「品質表示」においても必ずお読みになって、捨てずに保管してください。

### 🔧 組み立ての必需品

プラスドライバー



※ no.2 のドライバーを準備してください。

### 品質表示

[機種番号/外形寸法]  
RDS-8010SH-NA/DB 幅970mm × 奥行300mm × 高さ835mm

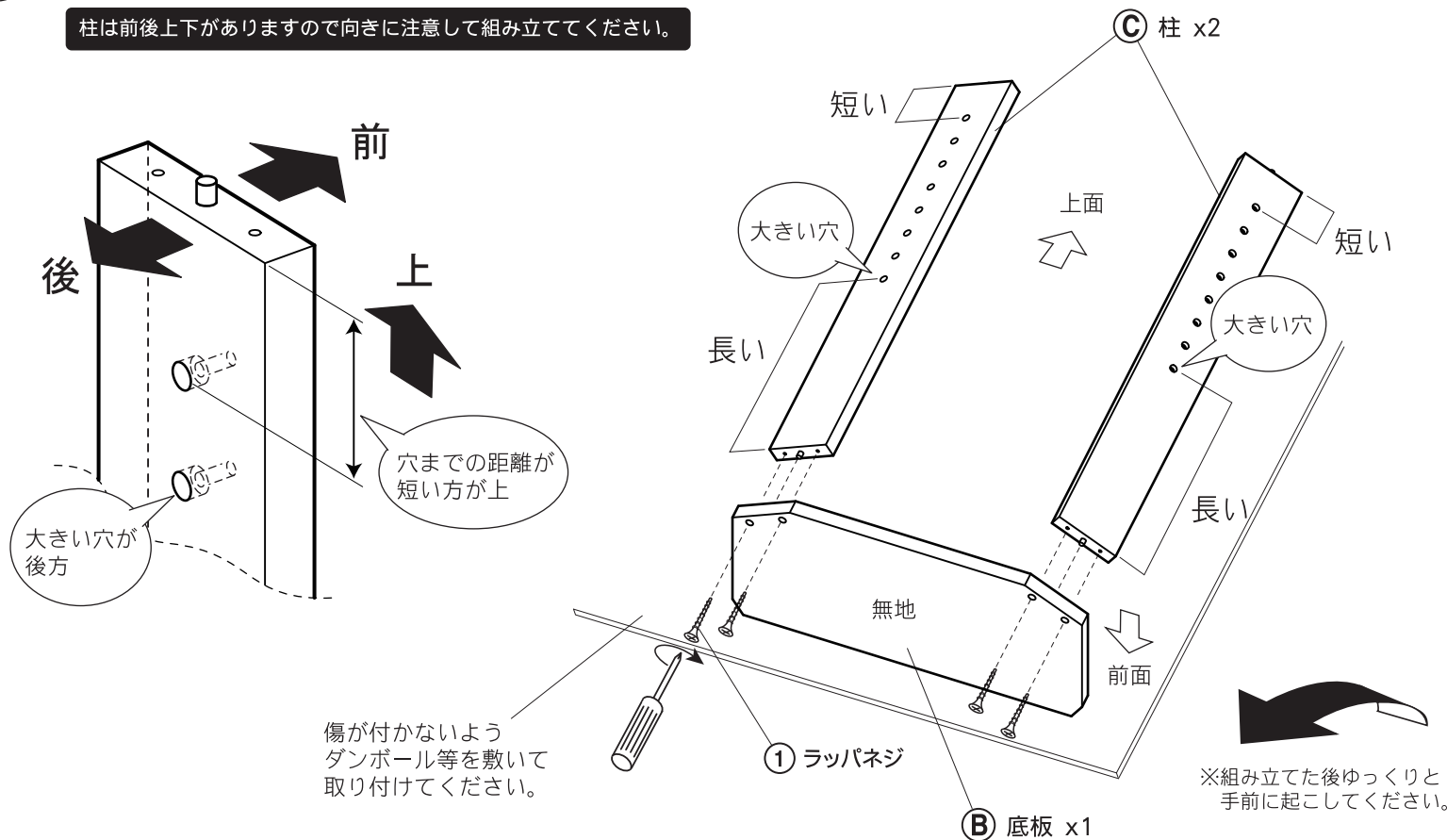
[表面材]  
合成樹脂化粧パーティクルボード(塩化ビニル)

[取扱い上の注意]  
イ. 直射日光又は、ストーブなどの熱を避けてください。  
ロ. 加熱したなべ、湯沸しなどを直接置かないでください。

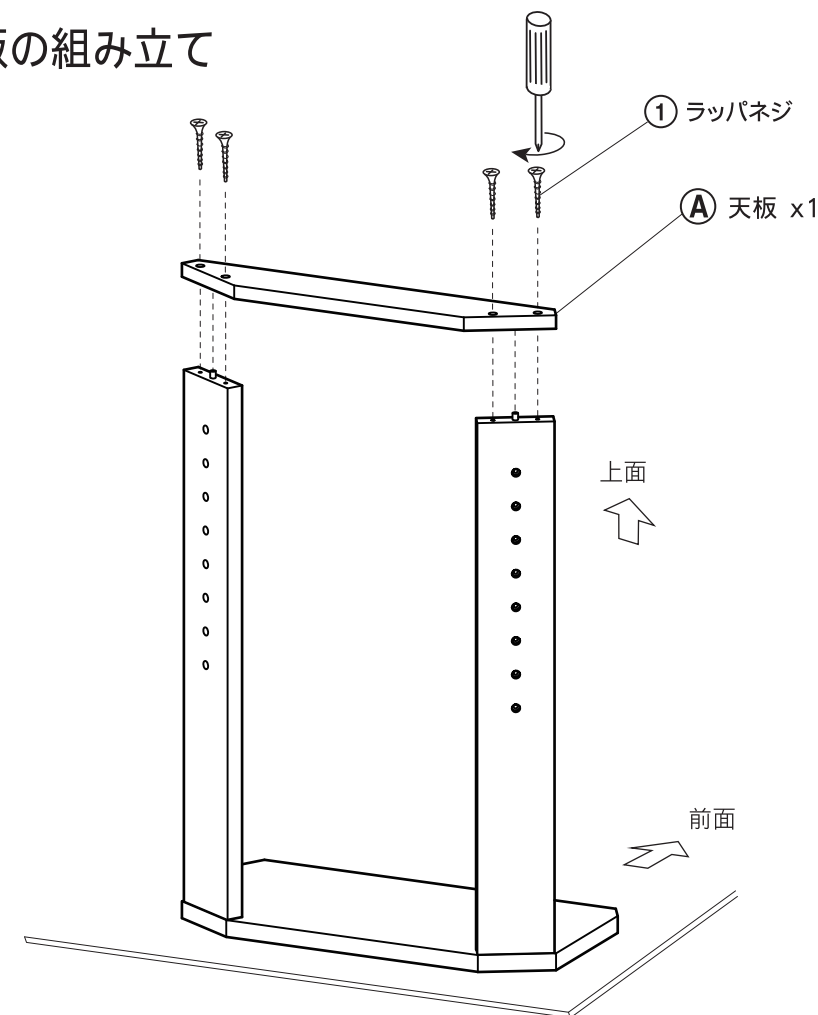
(マレーシア製)

## 1 ① B 底板と ② C 柱の組み立て

柱は前後上下がありますので向きに注意して組み立ててください。



## 2 ③ A 天板の組み立て



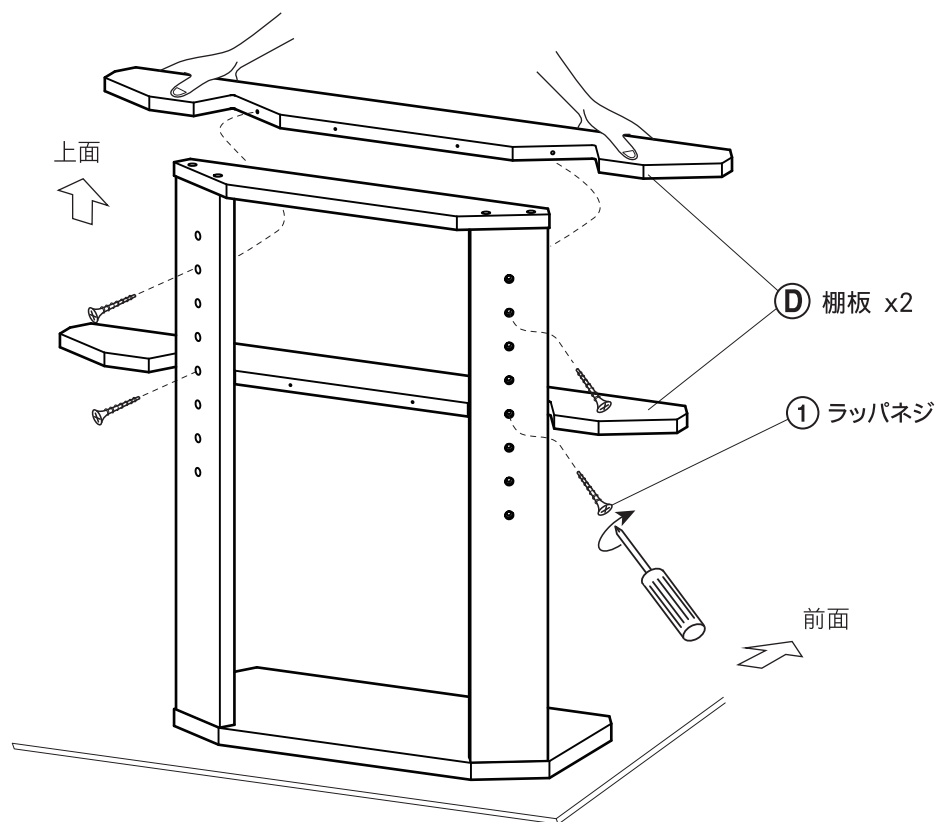
## 3 ④ D 棚板の組み立て

※1人で作業するとケガをする恐れがある為、必ず2人でゆっくり作業してください。

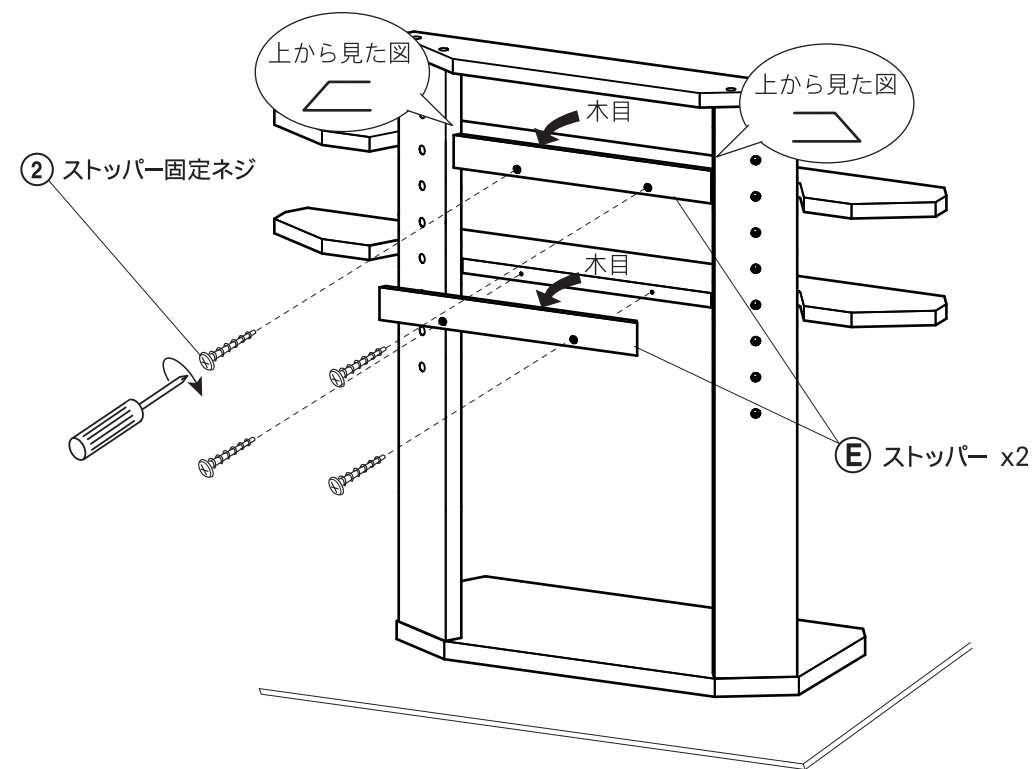


棚板の高さはご使用のマットレスに合わせて8段階好きな位置に組み立ててください。

組み立ての際、1人が棚板を支えながらもう1人がラッパネジを締め付けてください。



## 4 ⑤ E ストッパーの組み立て

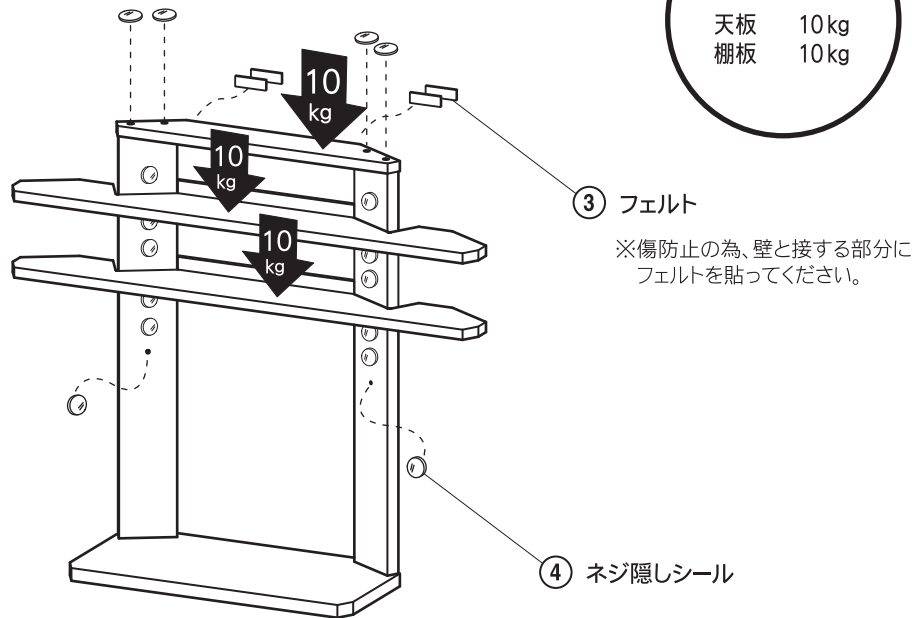




## 5 できあがり!

※本製品を壁に付けてご使用して頂くとグラつきが少なく安定します。  
傷防止の為、付属のフェルトを天板の後ろに貼ってご使用ください。

耐荷重の目安	
天板	10kg
棚板	10kg

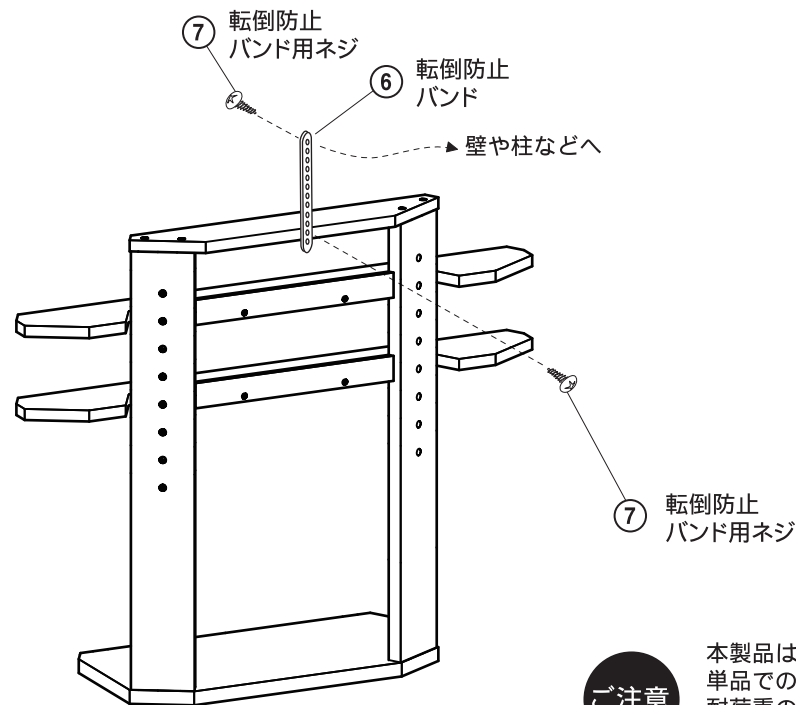


ASAHI WOOD

⑤ ASAHI WOODエンブレム  
好きな位置に貼ってください

## 転倒防止(前面方向)についてお願い

お子様が登ったり、揺すったり、押したりされると商品が前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を右記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

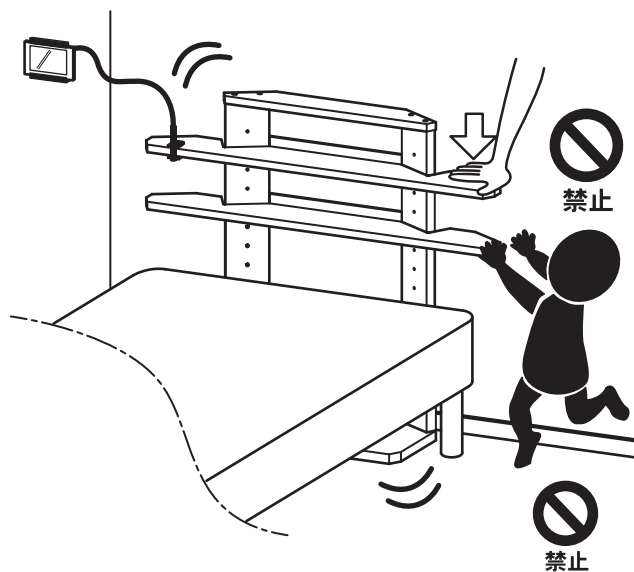


ご注意

本製品はベッドと壁の間に設置する事を想定しています。  
単品での使用や不安定な場所への設置は倒れ易くなる為ご注意ください。  
耐荷重の範囲内であっても棚板の両端に過度な力を加えないでください。  
またもたれかかったりぶら下がらないでください。  
本体が倒れ破損やケガの原因となります。

ご注意

スマートフォン用のアームスタンド等をご使用になる場合  
引っ掛けて本体が倒れないようご注意ください。  
またアームを無理に動かさないでください。  
変形の原因となります。



禁止

禁止



## 使用上のご注意

●安全にご使用頂くため、この「使用上のご注意」とその他の説明書がある場合はこれも併せてよく読み、正しくご使用ください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

### 家具の置き方

- ①地震などで家具が倒れ、ケガをする事があるので、建物の壁・天井等に固定部材でしっかり固定してください。また、家具の上に物を置くと落ちてケガをする事があるので、置き方にご注意ください。
- ②高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり(10cm位が望ましい)部屋の換気をしてください。
- ③直射日光や熱・冷暖房器の強風などが直接当たらない様にしてください。家具が歪んだりする原因となることがあります。

⑩家具を移動する時は、落としたり倒したりして物を壊したりケガをする事がない様に手でしっかり持って運んでください。

⑪フタを開閉する家具は、手、足等をはさまないようにご注意ください。

### 保守・点検

⑫チョウバンや脚取り付け金物などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめてらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、ケガをする事があります。また、移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

⑬虫等を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください他から虫が入った事も考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

### ご使用にあたって

④引出しや引手の上に乗ったり、扉などにぶら下がったり無理な力で引張ったりしないでください。家具が倒れてケガをする事があります。又、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないでください。重心が前へ移り転倒する事があります。

⑤引き出しがついている場合、これをいっぱいに出すと 抜け落ちてケガをする事があります。

⑥キャスター(移動用小车)付きの場合は、その上に乗ったり押して遊んだりしないでください。倒れてケガをしたりする事があります。

⑦家具の上に立ったり、踏み台代わりに使ったりしないでください。倒れてケガをする事があります。

⑧木材の接着剤等(ホルムアルデヒド)が残っている家具で人によってはアレルギー症状をおこすことがありますので、換気を充分にして取り除くようにしてください。

⑨取り外しのできる棚は、棚受具を確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やケガをする事があります。

P.L. 賠償制度付共通



(社)日本家具産業振興会  
TEL 03-3261-2805